

中国の大地震（M7.8）の原子力関係の影響について（4）

20.5.20 13:30

原産協会国際部

四川省にある原子力施設への地震の影響について、関係者、海外の新聞報道等を通じて得た続報を以下の通りお伝え申し上げます。

1. 電子メールによる中国の関係機関への問合せ情報

(1) 中国原子力産業協会（中国核能行業協会、CNEA、北京）からの連絡

5月19日（月）17:29 電子メール（要約）

- ・ 四川省にあるCNEAの会員企業の何社か（東方タービン公司等）はかなり被害を受けた。
- ・ しかし、モニタリング結果によれば、当地の原子力関係設備は安全である。
- ・ 日本の地震の経験は、これら施設の復旧に助けとなるだろう。
- ・ 成都の西南物理研究院は、震源から約160km離れているが、かなり強い揺れが感じられた。死者、負傷者はない。
- ・ 成都にある核動力研究設計院でも同様の揺れが感じられた。
- ・ ご心配いただき感謝している。

(2) 中国原子能科学研究院からの連絡

5月16日（金）17:17 電子メール（要約）

- ・ 北京でも地震の揺れを感じたが、問題ない。
- ・ （自分の）子どもは、成都の四川大学の学生で強烈な地震を感じたが、大学の建物は少しも損傷しなかった。ただ授業に出るすべがない。
- ・ ご心配いただき感謝している。

2. 海外の新聞報道等

サーチナ・中国情報局（2008-5-18 20:12）

「四川地震で原子力施設に問題なし—環境保護部」

- ・ 18日付中国新聞社は、中国環境保護部（省）が、四川大地震による周辺地域の原子力施設の安全性への影響はないとの結論を出したと伝えた。
- ・ ただ、同部の下部機関の原子力・放射線安全センターは地震直後から緊急事態に備えて人員を待機させているという。

以上